

徳島県では、人口減少や高齢化に伴うボランティア活動の後継者不足や固定化への対策として、次世代(若者)の活動参加やリーダー育成を促進するため、昨年度「次世代ボランティア育成プロジェクトチーム」を立ち上げました。ボランティア・NPOへのアンケート調査による現状把握や課題抽出等を通し、対応策を「次世代ボランティア活動推進プログラム(案)」としてとりまとめましたので、御紹介します。

当会としても、このプログラムを活用して、より一層、各市町村社協のボランティアコーディネーターと共に次世代ボランティア活動推進の取り組みを進めてまいります。

若者のボランティア活動 推進のために



とくしま福祉広報
198号
June.2019

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内
tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250
e-mail: info@e-fukushi.jp http://fukushi-tokushima.or.jp/

若者のボランティア活動を推進するための具体的な方策を「戦略プログラム(案)」としてまとめました。

若者の「自己実現」に向けた歩みを
共助社会づくりの礎に!

戦略プログラム(案)

- (1) 若者のボランティア活動の参画促進・裾野拡大
 - 情報発信戦略
 - 世代別活動推進戦略
- (2) ボランティア活動の継承・発展
 - 活動継承・発展戦略
- (3) 活動支援に向けた体制強化
 - プログラム浸透戦略
 - 支援体制の強化戦略
- (4) 「新たな潮流」への対応
 - 新たな潮流への対応戦略



■ 徳島県社会福祉協議会では、毎年、市町村社協にご協力いただき、県内のボランティア人口調査を行っております。本年4月1日現在社協のボランティア人口は80,657人です。



とくしま県民活動プラザ
770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリンターミナルビル1F
tel: 088-664-8211 fax: 088-664-5345
e-mail: info@plaza-tokushima.com
http://www.plaza-tokushima.com
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日、年末年始)



NPO法人 子育て応援団



「NPO法人 子育て応援団レインボー」は、子育ての悩み、不安などを気軽に話し合えるママたちの息抜き場、親子がふれあい、子どもたちがのびのびと遊べる場を提供し、親子の育ちをサポートしている団体です。子育ての楽しさや人との関わり大切さを伝えるみなさんの思いや活動内容をご紹介します。



特集 NPO法人 子育て応援団 レインボー
レインボーで心豊かな毎日

ひと 山に魅せられて
徳島県勤労者山岳連盟 理事長 天野 和幸さん

地域の中での自分の居場所づくり
人生100年時代を上手に過ごしていくために
古川 明美さん

シリーズ この人から
「自然界へのファーストエイド」
NPO法人エコロジカル・ファーストエイド
佐藤 貴志さん

ハートリレー
No.47 四宮さんから山本さんへ

子どもたちのボランティア活動
「地域の絆を深めるボランティア」
鴨島第一中学校

NPO法人子育て応援団 レインボー

レインボーで
心豊かな毎日

「大丈夫、私たちが付いてるよ!」と ママたちに伝えたい

理事長 やまぐち としこ 山口 壽子さん

長年勤めてきた保育所を退職する時、お世話になった皆さんに、何か恩返しをしたいと考えていました。自分ができることは、子どもたちと関わること。そんな風に考えていたところに、レインボーの前理事長からお声がけいただきました。前々からしかなかった子育て支援ができるという事もあり、喜んでレインボーの活動に参加しました。

理事長になって7年。レインボーのメイン活動である「にこにこ広場」も充実期に入ってきました。毎日、たくさんの親子が来てくれます。スマホが普及し、人と人の繋がりが希薄になっている時代に、子育てしているママたちは、本当に大変です。そんなママたちに、私たちができることは何だろうかと常に考えています。

まずは、一日の中で、ママにとって心地良い時間を少しでも長くすることかなと思っています。今は、ママ自身が'かかわってほしい症候群'にかかっています。「上手に育てたね。偉い

ね。」って誰かに言ってもらいたいんです。私は、いっぱいいっぱいママを褒めます。だめなことはだめと伝えます。レインボーに通ってくるママとは、常にコミュニケーションを図り、そういうことも伝える関係ができるよう努めています。

もう一つは、ママたちに愛情ホルモンを注ぐ術を伝えることです。「あなたのことが大好きだよ。」と、毎日子どもたちに伝えて欲しいんです。どんなに小さくても「自分はこんなに大切にされているんだ。」ということ、子どもたちは理解します。心からの愛情が伝われば、何があっても大丈夫です。

ママたちには、安心して子育てして欲しいと思います。困ったことがあったら、バックにはいつも私たちが控えています。ひとりで悩まないで、私たちのところに来て欲しいと思っています。「私たちのところへ帰っておいで。何も心配いらないよ。」と想いながら、今日もにこにこ広場で待っています。



いっぱい笑って
いっぱい楽しむ♪



NPO法人 子育て応援団レインボー
理事長 山口 壽子

住所: 〒770-0002 鳴門市撫養町斎田字浜端南 125-1
TEL: 088-678-7784
<http://www.rainbow-naruto.com>

スタッフ紹介します!

レインボーでは、異年齢の子どもたちが一緒に遊んでいます。小さい子は大きい子の真似をしながら、どんどん成長していきます。小さい子ももっと小さい子のお世話をしてくれるようになるんです。そういう姿を見ると感動を覚えます。



まえだ はるみ
前田 晴美さん

レインボーでの活動は本当に楽しいです。心が豊かで見られます。理事長が気持ちを前向きにしてくれますから。

今後は、子どもたちやママだけではなく、おじいちゃんおばあちゃんとも関わっていきたくと思っています。仕事ではなく、ボランティアで出来たらいいなと思っています。いろいろな人との繋がりを広げていきたい。広がっていくのが嬉しいんです。

自分の子育て中、いろいろな所へ出向いて行くものなかなかママ友ができなかった経験から、1人で来ても輪の中に入れていけるようにお母さんとお母さんとの仲介役に徹しています。気軽に悩みが言えたり、子育て以外の話もできたりする、友だちでもない、先生でもない、近所のおばちゃんみたいな存在でありたいと思っています。そんな私には、いつか、木のおもちゃや手作りのおもちゃを作りたいという夢があります。そのおもちゃで遊ぶ子どもたちの笑顔を見るのが楽しみです。



なだい
灘井 ひとみさん

レインボーのスタッフの方にお声をかけて頂いたのが出発点です。私自身も利用していたことがあり、親としてとても楽しい時間を過ごせた素敵な場所です。昨日までできなかったことができるようになり、子どもたちが「できたよ!」と喜びいっぱいの顔を見せてくれることで、私自身も喜びを感じます。そして、その笑顔が仕事への励みにもなっています。これからも、お母さんや子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごせるよう、自分自身も楽しみながら続けていきたいです。



たけうち ゆき
武内 友紀さん

レインボーでの仕事は、年中笑いが絶えず、とても楽しいです。みんなで協力し合うことで生まれる一体感、一緒に働いてとても心地良いです。日々来られる利用者の中には、初めての方も多いため、そういう方たちには積極的に声をかけるようにしています。そして、その他愛ない雑談の中でお母さんたちの日々の子育ての悩みについて聞くようにしています。1人で抱え込むと余計に不安になってしまうので、これからはできるだけ不安や悩みが相談できる環境を作っていきたいと思っています。



うちだ ちひろ
内田 千裕さん

一番大切にしていることは、親子の育ちの見守りです。子どもだけではなく、親も子も。お母さんが楽しくなければ子どもに笑顔をむけることはできないと思うので、困ったことがあればアドバイスし、親子とも楽しんで笑顔で帰ってもらえるように心がけています。お母さんが笑顔で帰ってくれること、レインボーに来てよかったと言ってもらえることが、私にとって一番の励みになっています。在宅で悩みを抱えて心が折れそうになっている親子が少しでもいなくなって、ここへ来てホッとする時間を持ってもらえるようになればいいです。子どもと一緒にいっぱい笑っていっぱい楽しむこの場所に、ほっこりしに来てください!!



やぎ たけこ
八木 武子さん

(取材: 丸山 明美・秋月 大輝・日下 睦子)



山に魅せられて



天狗塚(撮影:天野 和幸)

山登りには、岩登りや沢登り、地図を読んでルートを探していく探検的な登山など、様々な楽しみ方があり、四季折々の植物・景色などの自然を満喫することができます。今回は、安全で楽しい登山を目指す徳島県勤労者山岳連盟理事長の天野さんを紹介しします。

勤労者山岳連盟は、仕事を持っている人たちに、もっと登山を身近に感じてほしいという思いから、1976年に設立されました。当初は3団体での構成でしたが、現在では7団体にまで増え、会員は約210名です。

登山のサポート役としての活動では、登山をされる方に対し、山登りのための教育や遭難対策などの知識を習得してもらうため、座学と実技を兼ねた県民登山教室を開催しています。



また、クリーンハイクという環境保護活動もしています。毎年6月の第1日曜日に剣山クリーンハイクを、12月の第1日曜日に眉山クリーンハイクを行っています。さらに、3月最終日曜日に、一般

徳島県勤労者山岳連盟

あまのかずゆき

理事長 天野 和幸さん

〒773-0016 小松島市中郷町字豊ノ本 2-14
TEL: 080-1998-9358
E-mail: xdrbg659@ybb.ne.jp
HP: <http://tokushimawaf.starfree.jp/>

登山者を対象として、鴨島駅前から眉山山頂まで約30キロの里山を歩く、やまなみウォークラリーの開催など、精力的に活動をされています。

天野さんが特に力を入れて話してくださったのは、地形図を読めると、登山がより安全で、楽しみも深くなるということです。初めて登る場所でも、事前に時間や距離などを想定することができ、たとえ道を間違えても、地形図と磁石を利用すれば、自分が今どこで迷っているのかを把握することができるそうです。

これまでに登った山で特に印象深いのは、初夏に見る三嶺だそうです。三嶺から天狗塚にかかる笹原は、非常に美しい景色が広がっています。小さな白い花のコメツツジと笹がおりなす風景は、天然記念物にもなっています。

しかし、残念なことに県内の山は鹿の食害が増えています。中腹にあった笹がほとんど食べられ、登山道がわかりにくくなり、道から逸れることが多くなったり、表土が露出し風雨による浸食で土砂崩れの原因にもなったりしています。植物だけの被害ではなく、災害にもつながる恐れがあります。そのため、立ち木にガード巻きを行ったり、防鹿柵(ぼうろくさく)という網を張り巡らせたりするなど、積極的に鹿の食害対策にも取り組んでいらっしゃいます。

これからは、もっとたくさんの人に山の魅力を知ってもらい、自分たちの知識や経験を引き継いでいってほしいとお話してくださいました。

「エネルギーや知識を使って、苦しい思いをしながら仲間と一緒に山に登り、そして感動する。やっぱりこれかな。」最も印象に残った天野さんの言葉です。山への思いで溢れる天野さん、本当にすてきな方でした。

(取材:山田 奈津・向井 亜里紗)

シリーズ この人から

自然界へのファーストエイド

さとう たかし
NPO 法人エコロジカル・ファーストエイド 理事長/研究員 佐藤 貴志

設立代表者の佐藤貴志です。多くの方々のご支援に感謝しています。

第1回目は団体についてです。

私たちは国際 NPO で、私たち一人ひとりが主人公となる環境保全活動をしています。国内だけでなく、アジアを中心に世界各地からのオファーにより、産官学民プロジェクトを企画・実施しています。主要なものは、YOU プロジェクト。「経済面での自立支援」と「環境面での自立支援」をすることにより、「持続可能なまちづくり」を推進中です。さらに、少子化・人口減少も歯止めをかけ

るために、若者が魅力を感じる、あたたかい地域づくりのための協働ネットワークを展開しています。

また、独自で水質や土壌の浄化、悪臭を分解除去する技術等を開発し、必要なときには「自然界への対象療法」を無償で技術提供しています。メンバー全員がボランティアであることに加え、独自開発の特許技術を利用するため、住民の経済的負担を軽減しています。

しかし、大切なのは技術ではなく「原因究明」です。私たちの日常生活や仕事の習慣の中に組込む「自然界へのファーストエイド」が大切です。課題が生まれてしまった習慣に対し、「自然界への小さなおもいやり」を組込むことで持続可能な地域づくりをしています。



YOUプロジェクト
水質浄化装置 YOU (特許第604721号、第5192608号ほか)
環境浄化微生物などの技術提供 / 培養、活用など / 親子でできる自然界への応急手当、親子で参加する環境学習・講演など



「ゆめバンクとくしま」寄付による助成事業報告をします。

「ゆめバンクとくしま」では、みなさまからの寄付による助成事業を実施しています。今号から、この助成事業で実現した活動の内容をご紹介します。

平成30年度助成事業

助成団体: 石井ボランティアあすなろ会 (石井町)

助成金額: 10万円

活動概要: 高齢者の生きがいづくりや社会参加を図る「あすなろいきいき塾」で、石井町出身の音楽家のコンサートや料理研究家の料理教室、また、人形浄瑠璃公演を開催し、日常生活で役立つ知識を提供すると共に、お互いに支え合える地域づくりを行いました。



NPO 支援のためにご寄付をお願いします!

● 寄付の種類

- ・ 支援する分野や団体を決めずに県内のNPOを支援する「一般寄付」
- ・ 特定の分野を指定して支援する「分野指定寄付」
- ・ 特定の団体を指定して支援する「団体指定寄付」

● 支援の方法

- ・ 「一般寄付」は、公募の上、審査し、県内のNPO・ボランティア団体に助成
- ・ 「分野指定寄付」は、指定分野で活動するNPO法人に助成
- ・ 「団体指定寄付」は、直接、指定団体に助成

● 寄付の方法

- ・ 窓口での寄付: とくしま県民活動プラザの窓口で受け付けています。
- ・ 振込での寄付: 次の口座への振込で受け付けています。
<郵便振替>16210-12956301
<銀行振込>
・ 阿波銀行 県庁支店
普通 口座番号1638245
・ 徳島銀行 県庁支店
普通 口座番号8511965
・ 口座名義(各口座共通)
: トクビ)トクシマケンミンカッドウプラザ



イベントガイド

NPO 出前授業の講師(団体)を募集します!

小中学校及び高等学校の授業に貴団体の力を活かしてみませんか
平成28年度より、とくしま県民活動プラザでは、出前授業として小中学校及び高等学校等への講師(団体)派遣を実施しています。
協力していただける県内の社会貢献団体を募集します。

<登録>

申請用紙に必要事項をご記入の上、とくしま県民活動プラザまでご提出ください。(郵送、持参、メール、ファクシミリ等)
※登録が適当と認められた場合は、登録団体の一覧表に掲載し、県内の小中学校及び高等学校等へ配布します。

<依頼>

とくしま県民活動プラザが、県内小中学校及び高等学校等からの派遣依頼を受け、依頼された団体との連絡調整を行います。

<派遣>

依頼を受けた団体は、学校に出向き出前授業を行います。
出前授業実施団体には、必要経費の一部(1万円程度)と旅費(1団体につき1校あたり1回分)を支給します。(出前授業終了後)詳細についてはプラザのHPをご覧ください。



NPO強化事業 講師を派遣します!

NPOやボランティア団体が社会貢献活動を推進するために行う各種事業の講師を派遣し、貴団体の活動を支援します。

<経費の負担について>

・NPO強化事業の謝金と旅費の一部をプラザが負担いたします。

<NPO強化強化事業の流れ>

1. 申請
・事業実施の14日前までに申請書等を提出してください。
・プラザに団体登録していない団体は登録してください。
2. 決定
・申請書を受けて、審査のうえ、予算の範囲内で決定し通知します。
・1年度1団体あたり1回、講師1名とします。
3. 報告
・事業実施後、速やかに実績報告書等を提出してください。

詳細についてはプラザのHPをご覧ください。

ハートリレー

No.47 四宮さんから山本さんへ



徳島 Worman's health care
代表 山本 恭代さん

多職種とともに女性のヘルスケアを考える

徳島市在住の山本恭代さんは、徳島県では3名しかいない女性泌尿器科医師です。徳島大学病院で「女性泌尿器」の専門外来を担当しています。「女性泌尿器」では尿もれや頻尿などの排尿障害、膀胱や子宮、直腸が膈から出てくる骨盤臓器脱など、加齢とともに増加する女性特有の症状を診療しています。治療は、生活指導、薬物療法、手術など多岐にわたります。より良い治療を提供できるよう、徳島で Worman's health care という勉強会を立ち上げ、理学療法士や作業療法士など多職種の方と連携、協力し女性のヘルスケアへの取り組みを行っています。「女性にとって行きにくい診療科かもしれませんが、その敷居を低くして、悩んでいる女性の問題解決の手助けができればと考えています」とのこと。プライベートでは子育てをしながら、愛猫の世話にも励む、穏やかで優しい先生です。徳島の女性泌尿器患者さんの助けになるよう、ますますのご活躍を期待します。

文・四宮 加容



とくしま県民活動プラザ

●プラザ開館時間
開館時間:10:00~18:00
【研修室利用時間】
火曜日~土曜日:10:00~21:00
日・祝日:10:00~18:00
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、
年末年始



●公共交通機関をご利用の場合●
JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、
・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリンターミナル」下車すぐ
・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ

編集後記

プラザでの活動を通して、様々な人と出会えるきっかけをいただき多くを学ばせてもらっています。ボランティアは様々な社会問題と密接につながっており、それを解決するための取り組みには、仕事や生活に役立つことがたくさんあります。これからも、一緒に活動させていきたいです。誌面作成に当たりご協力頂いた皆さま、本当にありがとうございました。皆さまに興味をもって読んでいただけると、これからも頑張りますので、よろしくお願いします。(篠原督人)

地域の中での自分の居場所づくり

人生100年時代を上手に過ごしていくために

徳島文理大学保健福祉学部人間福祉学科准教授 古川 明美



最近、新聞等で聞きすることが多い「人生100年時代」、定年退職後の35年~40年間を皆さんは、どのように過ごされますか?趣味などが活動できる場をお持ちですか?また、人生の設計図はありますか?自分のことなのに、仕事に追われ意外に考えていない方が多いのではないのでしょうか?

例えば誰かのために何か、「したい」という気持ちがあってもいざ行動に移すことは勇気が必要です。皆さんは自分の住む地域内でどんなボランティア活動があるかご存知ですか?ボランティアとは、見返りを求めないものですが、誰かのために何かをすることは、自分の生きがいに繋がります。

地域内でのボランティア活動の情報を入手し、自分ができるところを選び、他人ごとではなく我がごととして、活動に参加してみませんか?

地域内で自分の知識や技術など多彩な才能を活かすことが、「人生100歳時代」を生き抜く戦略の一つです。勇気を出し一歩を踏み出し、自分の住む地域で居場所を見つけましょう。

子どもたちのボランティア活動



地域の絆を深めるボランティア 鴨島第一中学校

鴨島第一中学校では、生徒会役員をはじめとするたくさんの生徒が活発にボランティア活動に取り組んでいます。「できる時にできる人がする」生徒全員がボランティア部です。地域のボランティア団体等から学校にボランティア募集の依頼があれば、各教室で参加を呼びかけ、地域のイベントなどのお手伝いをしています。

主な活動のひとつに、名水百選「江川の湧水」の水質保全活動に取り組まれているNPO法人江川エコフレンドの方と共に行う月1回の江川周辺の清掃活動があります。平成12年から始まったこの活動は平成30年2月に参加者が2万人を超えました。この伝統ある活動を守ろうと、毎回、生徒約100名が参加しています。ボランティアに参加している生徒は「この活動に参加するようになって、自分たちの手で町がきれいになっていくことがすごく嬉しい」と感じるようになりました。また、「自然を大切にしたい気持ちやありがたさ」と感謝する気持ちがより一層強くなった。「年齢の違う地域の人たちと交流できる時間も私たちにとって貴重な時間だ」「地域の絆を深めていけたらいいな」と言っています。

毎月1日、7時になると、また学校裏の江川周辺に子どもたちが自主的に集まり始めます。



令和元年5月1日214回記念

徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!



一般社団法人
徳島県医師会

会長 齋藤 義郎
徳島市幸町3丁目61番地
TEL 088-622-0264

CLE NUP 吉野川をきれいに!
参加団体、募集中。

吉野川交流推進会議
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
県民環境政策課内
TEL 088-621-2743
FAX 088-621-2758
E-mail office@yoshinogawa.org
http://www.yoshinogawa.org/

ふくしと私



社会福祉法人 徳島県社会福祉事業団

障害者支援施設 希望の郷

主任支援員

木川 晃一
きかわ こういち

就職するまで福祉・介護分野に
関わりの無い生活を送っていました。
そんな私が知的障がい者福祉
の道に入ったのは福祉関係の先達
から、「こういう職場があるので
まずは見学してみてもどうです
か?」と、お話を頂いたのがきっ
かけでした。

そのまま流れるように入所施設
を初めて見学させて頂きました
が、知的障がいのある方と対面し
た時、「びっくりした」というよ
うなことが無かったのが、ある種
の適性を示していたのかも知れま
せん。

気付くと自然に就職し、施設老
朽化に伴う移転新築と同時の同一
法人内施設との統合を経て、10年
以上があつという間に過ぎ去って
いました。

その間に現場で日中は生活介護
支援、夜間は夜勤業務をしていた
かと思うと、看護師の元で通院付
き添い、事務配属となり請求事
務、会計事務と様々な経験をさせ



て頂いています。どれも自分のス
キルアップにつながっています。

現在は再び生活介護支援及び夜
間入所支援に携わっていますが、
10年もの間、支援をしていると利
用者さんの変化も大きいと感じる
ことが増えてきました。

その変化とは、「高齢化」です。
10年の歳月、それはただ10歳分の
歳を取るということだけにとどま
らず、支援内容も変化していか

いと現状にそぐわなくなってきた
のかも知れない、という気付きを
得るための期間でもありました。
また、高齢化と一口に言っても
内容は多岐に渡ります。体力の低
下、健康面での留意事項、欲求の
衰え……。当然ですが、そのどれ
もがないがしろにできないもので
あり、これまで以上に支援を必要
とするものです。

就職当時は元気いっぱいだった
方が、今では口数が少
なくなっている姿を見
ると、寂しい気持ちに
なります。一見年齢を
感じさせない方が、散
歩中にちょっとした段
差でつまずきそうに
なった時は驚くと同時
に、歳を取るとはこ
ういうことなのだと思
直しました。

自身においても、徐々
に加齢による衰えを自
覚しつつあることが、



障がいのある方への支援に一層力
が入る動機づけになるでしょう
し、支援を通して自身の高齢化と
もうまく付き合っていくための学
びの時間なのだと思います。
当法人では「笑顔あふれる施設
づくり」を基本理念としています。
利用者さんの課題と向き合いなが
ら、それを推進していくことが「し
あわせ」につながると信じていま
す。

ともに生きる豊かな福祉社会を目指して とくしま住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会



地域ささえあい担い手養成講座



サロンサミット

ひろがるしあわせつながる手と手
会長 山口 浩志
とくしま住民参加型在宅福祉サービス団
体連絡会は、県内における住民たすけあい
活動推進と普及を図るとともに、地域で活
躍されている団体相互の発展とゆるやかな
ネットワークを形成することを目的として、
平成24年に設立しました。
設立以来実施している「ささえあい勉強
会」の他、平成27年度から、徳島県医療介
護総合確保基金事業を活用したシルバー介
護担い手養成事業としての補助を受け、各
市町村域で地域住民やボランティアグル
ープ等と共に学ぶ「地域ささえあい担い手養
成講座」や「サロンサミット」交流と居場
所づくり実践報告会」等を開催してあり
ます。
今後、ますます多様化する地域ニーズに
対応していくためには、住民同士のささえ
あいが必要となります。これからも引き
続き様々な事業を行い、県内における住民
たすけあい活動推進に役立っていきたく
考えています。

ありがとうございます

預託 ●明治大学校友会徳島県支部実行委員長様より、福祉関係者へ第35回明治大学マンドリン倶楽部徳島チャリティ演奏会の御招待
●みちのくエンタテインメント有限会社様・音瀬泰彦税理士事務所様より、福祉関係者へみちのくプロレス徳島大会の御招待
●株式会社レディ薬局様・クラシエホールディングス株式会社様より、福祉施設5箇所へ車椅子の御寄贈●富士陽子様より、ケアハウス矢上上ひ
な人形7段飾りの御寄贈●徳島県調理師共栄会様より、阿波国慈恵院に和食料理の御提供

寄付 ●宮本良一様●徳島県商工会青年部連合会様●南海トラフ巨大地震から徳島県保育園児を守る会様●日本健康麻痺協会 徳島
支部様●映画「コスタリカの奇跡」上映実行委員会様●徳島電気工事協同組合様●株式会社徳島銀行様●株式会社 ダイヤジム
様●名鉄観光サービス株式会社徳島支店様●有限会社ライトスタッフ様●株式会社四国情報管理センター徳島支社様●株式会社ふくなか様●協
業組合 徳島印刷センター様●篠原石油株式会社様●原公認会計士税理士事務所様●株式会社アルファ・システムズ様●株式会社 金剛様●徳島
ホテルリゾート株式会社徳島グランヴィリオホテル様●株式会社阿波銀行様

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成31年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額		年間保険料 (1名あたり)	
プラン	Aプラン	Bプラン	
死亡保険金	1,040万円	1,400万円	
後遺障害保険金	1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
入院保険金日額	6,500円	10,000円	
ケガの補償	手術 入院中の手術	65,000円	100,000円
	保険金 外來の手術	32,500円	50,000円
通院保険金日額	4,000円	6,000円	
特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円(限度額)		
賠償責任 賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		

年間保険料 (1名あたり)		
タイプ	プラン	
基本タイプ	Aプラン	350円
	Bプラン	510円
天災タイプ(※)		
(基本タイプ+地震・噴火・津波)	Aプラン	500円
	Bプラン	710円

http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険 検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火ま
たは津波)に起因する被保険者自身
のケガを補償しますが(天災危険担保
特約条項)、賠償責任の補償につい
ては、天災に起因する場合は対象に
なりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行幸用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(S)NK18-13568 2019.1.16作成

地域とお客さまの「ベストパートナー」へ



阿波銀行
http://www.awabank.co.jp/

環境にやさしい銀行を目指し
環境保全活動に取り組んでいます。



トクベ
© 2003 TOKUGIN

徳島銀行
http://www.tokugin.co.jp

事前説明会の様子(2018年度)



2018年度 事前説明会参加者アンケート結果より

主な参加理由(複数回答)

- ・短時間の就労だった…………… 41.4%
- ・未経験・無資格でもよかった…………… 39.7%
- ・介護助手が気になった…………… 27.6%
- ・県(社協)の主催だった…………… 25.9%
- ・地域貢献がしたかった…………… 24.1%
- ・介護(介護施設)に興味があった…………… 19.0%

介護助手とは?
業務内容
施設のご紹介・見学
採用に向けたスケジュール

業務の様子



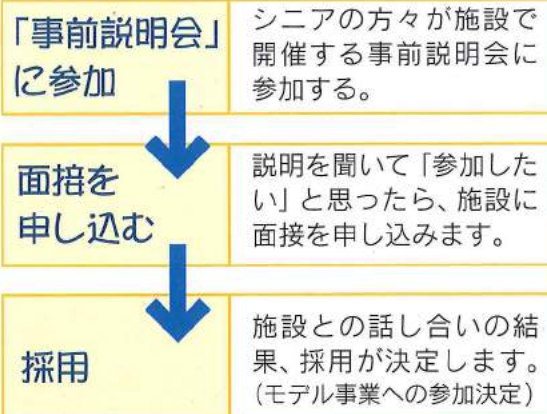
ベッドメイク 洗濯物の整理 食事の配膳・下膳

2年間でモデル事業に参加された94名はこのような方でした

- H29年度/38名 【性別】男性:24名 女性:70名
- H30年度/56名 【平均年齢】平均年齢67歳(最高年齢80歳)
- 【経験】6割以上が介護業務未経験者でした

モデル事業参加までの流れ

介護施設で3ヶ月間介護助手としてモデル的に就労していただきます



モデル期間終了後は、施設とシニアのみなさんが相談し、条件があれば雇用を継続できます。

令和元年度のパンフレットを送付希望の方は下記までご連絡ください。

社会福祉法人
徳島県社会福祉協議会福祉人材センター
〒770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地
徳島県立総合福祉センター3階
tel:088-654-4461 fax:088-656-1173

令和元年度「徳島県版介護助手制度」

アクティブ・シニア生涯活躍推進事業 9月頃実施予定

無資格・未経験
短時間でも働ける
介護の新しい
働き方です。

徳島県社会福祉協議会では、平成29年度から徳島県の委託を受け、シニアの生きがいづくりや介護の人材不足解消などを目的に、介護の「周辺業務」を元気なシニアに担ってもらい「徳島県版介護助手制度」のモデル事業を実施しています。令和元年度は、規模を拡大し、県内の多くの介護施設で介護助手を募集します。

「介護助手」イメージ

これまで、現役介護職員が担ってきた「業務を切り分け」

介護周辺業務
「介護助手」が担当

介護助手の仕事しながら必要な知識・技術を習得

専門的な知識を必要とする業務
「現役介護職員」が担当



介護助手が担う介護周辺業務の例 ● 1.部屋の掃除 2.食事の片付け 3.ベッドメイク 4.シーツ交換 5.利用者の話相手

2019年度 職場内研修サポート事業

職場内研修の企画から実施、研修計画の見直し等をサポートします!

● 講師謝金、旅費、賃借料の経費を上限5万円まで徳島県社会福祉協議会が負担します●

■ 受付期間: 令和元年11月29日(金)まで

■ 事業内容

- (1)Aコース 職場内研修の実施に伴う課題を解決しながら、企画から実施、振り返りまでをサポート
- (2)Bコース 上記“Aコース”のみならず、研修成果の評価・分析を通して研修計画の見直しや次年度以降の研修計画への反映等をサポート

■ 対象条件: 1事業所につき原則1回のみ対象

但し、介護サービスを提供している徳島県内の事業所を対象とします

※詳細については、こちらのQRコードから御確認ください。



■ 対象期間: 令和元年12月27日(金)までの間に開催する職場内研修、研修計画の見直し等

お問い合わせ・お申し込み先

社会福祉法人徳島県社会福祉協議会 福祉人材センター人材育成支援担当
TEL:088-654-8383 FAX:088-657-1311
E-mail:kenshu@tokushakyo.jp HP:http://e-fukushi.jp/kenshu/

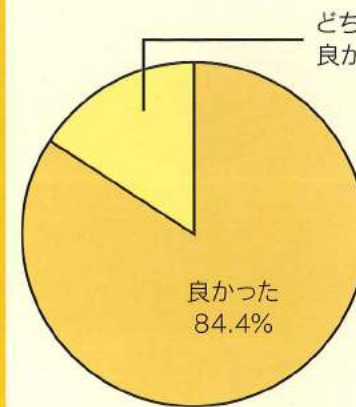
2019年度 職場内研修支援事業
職場内研修サポート事業
人材が育ち、育て合う事業所づくりを応援します!!
募集 職場内研修実施における講師謝金、旅費、賃借料の経費上限5万円は県社協が負担
Aコース 職場内研修の実施に伴う課題を解決しながら、企画から実施、振り返りまでをサポートします。
Bコース 上記“Aコース”のみならず、研修成果の評価・分析を通して研修計画の見直しや次年度以降の研修計画への反映等をサポート

職場内研修サポート事業の他に、下記のキャリアパス支援事業も行っております。御興味のある事業所はこちらのQRコードから御確認ください。

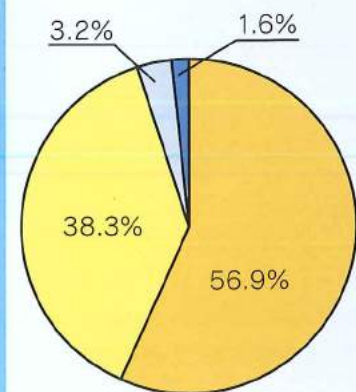
■ 職場内研修モデル事業
■ キャリアパス支援セミナー

H30年度 アンケート結果より

介護助手感想



施設感想



どちらかと言えば良かった 15.6%

良かった 84.4%

「介護助手」導入の感想
非常に助かっている
どちらかと言えば助かっている
変わらない
どちらかと言えば手間がかかっている



質問事項	[9月中旬]		[11月中旬]
	はい	「はい」の改善	はい
業務量の減少に繋がった	69.9%	8.3%↑	78.2%
専門的業務(本来業務)に専念できた	54.4%	12.6%↑	67.0%
利用者とうき合う時間が増えた	40.4%	12.3%↑	52.7%
精神的な負担減少に繋がった	36.8%	13.7%↑	50.5%
安全面の向上に繋がった	24.4%	4.9%↑	29.3%
ワーク・ライフ・バランスの向上に繋がった	9.8%	9.8%↑	17.6%